

エジプトの指導主事たちが日本で「日本式教育」を学ぶ

～プロジェクトコアメンバーに対する能力強化研修～

国際協力機構（JICA）は、10月6日から19日までJICA九州において、エジプトで「日本式教育」の導入を進める中心的なメンバー（カリキュラム局、指導主事、大学教授）に対して研修を行います。研修参加者が、日本の学校教育現場の視察や有識者との協議を通して、「日本式教育」への理解を深め、エジプトでの導入・普及活動に生かすことを目的としています。

2016年2月に両国間で合意された「エジプト・日本教育パートナーシップ」（Egypt-Japan Education Partnership: EJEP）に基づき、JICAはエジプトの若者の能力強化を目的に、就学前から高等教育までを対象とした包括的な人材育成支援を行っています。基礎教育分野では、日本の幼稚園で行われている「遊びを通じた学び」、小・中学校における特別活動を中心とする諸活動（学級活動（話し合い活動）、掃除、日直、係活動、学校行事、朝自習等）、さらに学校運営を併せた日本式教育の要素（これらを総称して「特活プラス」と呼んでいます）をエジプトに導入し、それにより「全人教育（Whole Child Education）」（知的・社会的・身体的側面からバランスのとれた子供の発達）の実現を目指し、2017年2月から技術協力プロジェクト「学びの質向上のための環境整備プロジェクト」を実施しています。主な活動としては、エジプトに適用可能な「特活プラス」の導入・普及のためのモデル開発や、導入・普及を担うエジプト側関係者の能力強化等を実施しています。

エジプト政府は日本式教育を導入・普及していくため、施設面でもエジプト日本学校（Egyptian Japanese School: EJS校）を整備しており、昨年度全国で35校のEJSが開校、今年度5校が新たに加わり全部で40校のEJSで、エジプトの子どもたちが「特活プラス」を実施しています。また、エジプトのカリキュラムでも“Tokkatsu”が正式に導入され、2018年9月より、全国の一般公立校でも、「特活プラス」の一部を実施することとなりました。

特別活動の実施により、子どもたちに前向きな姿勢がみられるなど、少しずつ変化を実感しており、今後の展開が期待されます。「特活プラス」がプロジェクト後も持続的に普及・発展していくよう人材育成を行うとともに、学校で実施する「特活プラス」の質の向上を図っていくことが重要で、本研修も人材育成のために実施するものです。

以下の取材可能なプログラムをご覧ください、ぜひ取材をご検討ください。

日時	内容	場所
10/6(日) 14:30-16:30 頃	(講義)現職教員の特別活動の研修について:福岡教育大学:脇田哲郎教授	JICA 九州
10/7(月) 14:00-17:00 頃	(視察)現職教員に対する特別活動の指導:研修員が指導案審議の様子を参観	豊前市立八屋小学校
10/8(火) 09:00-15:00 頃	(視察)運動会全体練習、歓迎会、学級活動、給食、昼休み、掃除、等	福岡市立堅粕小学校
10/10(木)08:00-15:00 頃	(講義、視察)学校運営の講義、歓迎会、協議会、学級活動の視察、給食、掃除、縦割り班活動等	北九州市立小石小学校
10/11(金) 10:30-15:00 頃	(視察)学校全体、学級活動、給食、掃除の視察と協議	宗像市立河東西小学校
10/14(月)13:00-15:30 頃	(講義)日本とエジプトの特別活動、等 國學院大学:杉田洋教授	福岡教育大学
10/16(水)10:00-13:00 頃	(視察)高等教育における授業参観	福岡県立香住丘高等学校
10/17(木)10:00-13:00 頃	(視察)高等学校の教育(小学校とのつながり)	九州国際大学附属高等学校
14:00-17:00 頃	(視察)中学校における特別活動	飯塚市立幸袋中学校
10/18(金)08:40-10:10 頃	(視察)教職大学院の「特別活動の理論と実践」の参観	福岡教育大学
13:30-15:30 頃	(発表)研修員の発表	JICA 九州

本件に関する 問い合わせ先	JICA 九州 研修業務課 中司 (なかつか)、柴田 TEL 093-671-8207、FAX : 093-671-0979
------------------	---

※学校等との事前調整が必要な場合があるため、取材を希望される場合は、必ず視察を希望される日の3日前までに上記問い合わせ先までご一報ください。